

串間市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（平成 28 年 2 月）改訂 新旧対照表

平成 28 年 5 月 16 日

平成 28 年 3 月定例会での質疑等を受けて、串間市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（平成 28 年 2 月）を以下のとおり改訂する。

頁数	新	旧
P. 36	<p>また、本市は、平成 26 年 5 月、日本創成会議・人口減少問題検討分科会が発表した「消滅可能性都市」（20～39 歳の女性人口が 5 割以下に減少する自治体をいう。）に該当するが（若年女性人口変化率△59.7%）、若年層における社会動態の改善効果により、<u>20～39 歳の女性人口の減少率が△28.1%に抑えられ、さらに 2060 年時点でもその減少率は-40.7%にとどまり、子どもを産み育てる中心世代の 20～39 歳の女性の人口減少が緩やかになることから、年少人口（0～14 歳）割合も緩やかに上昇し続ける。</u></p>	<p>また、若年層における社会動態の改善の効果により、子どもを産み育てる中心世代の 20～39 歳の女性の人口も増加するため、年少人口（0～14 歳）割合も緩やかに上昇し続ける。</p>
P. 37 ～ P. 39	<p>また、本市の 6 地区（福島地区、北方地区、市木地区、都井地区、本城地区、大東地区）別の人口推移を見ると、地区ごとに人口減少の深刻さは異なるが、人口減少対策に取り組むことにより、いずれの地区でも社人研の推計値と比べ、人口増加に向けた改善が見られる。</p> <p>&lt;以下、地区別人口の推移を示すグラフを 6 つ追加&gt;</p>	<p>（新規）</p>

以上